

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「月のうさぎには負けないよ！」

〈楠河小学校もちつき大会〉

1月21日、楠河小学校で全校児童と老人クラブ、PTA会員が一緒になって、昔から行われてきた杵（きね）と臼（うす）を使ったもちつき大会が開催されました。



地域の方と一緒に

当日使用したもち米は90kg。同校の田んぼで小学5年生が中心となり、老人クラブの方々に指導を受けながら、もみまき、田植え、稲刈り、脱穀と約半年かけて自分たちが

大事に育て、収穫したものです。

ふかふかに蒸したもち米を臼の中に入れて、子どもた

ちは老人クラブの方と一緒に杵でもち米をつぶし、順番にペッタンペッタンと元気よく杵を振り下ろしていました。つき上がったあつあつのもちは、その場で子どもたちが餡入りもちと餡なしもちに手でまろめ、丁寧にパック詰めしていました。



田植えの様子

心をこめてついたもちも、児童一人ひとりが楠河地区内に住んでいる一人暮らしの高齢者宅を訪問し、手渡してプレゼントされました。

最近では、手軽にもちを買えるなど大変便利になったこともあり、機械でもちつきをする家庭ですら減ってきていますが、地域の人との交流もできるこの体験は子どもたちにとって貴重な体験となりました。作物をつくる作業の大変さと作物に対する感謝の気持ちを忘れないでくださいね。

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

地域と連携した花づくりの普及活動

〈丹原高校〉

丹原高校農業クラブ草花班では「地域生活に潤いと安らぎを」を合言葉に地域への貢献をめざし、年12回程度各地の公民館に出かけ独自の花作りの方法を提案しながら、花づくりの普及につなげる活動を行っています。

日頃の研究発表など花づくりに関するもののほかにも、出会い、ふれあい、分かち合いをテーマに掲げ実施されているこの活動は10年以上続けられており、毎回たくさんの地域の方に参加していただき好評を得ています。生徒の皆さんは日頃花材や資材の準備などで忙しい毎日ですが、回を重ねるごとに面白さを実感し、学習意欲も向上。放課後は、多くの皆さんが農場に集い意欲的に活動しています。

年末に開催した桜樹公民館では、正月用の寄せ植え作り

を実施し「普段は子どもの声のない地域ですが、楽しいひと時を過ごせて楽しかった。山のおばさんより」と後日お便りをいただくなど、この活動は人との交流を通し高校生自身が自分を試してみる場所であり、自分を輝かせる絶好の機会となっているのです。

丹原高校では、今後も社会教育と人間教育の場として、公民館での地域との連携を大切にしたいこの活動を継続し、これまで以上に発展させたいそうです。



活動の様子

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

円覚山仏心寺の椿

小松藩主の菩提寺である円覚山仏心寺には、数百本の椿があり、その椿群の中に樹齢200年以上の「明石蓮」と「大城冠」があります。

明石蓮（あかしれん）は、藩政時代の歌集に「見るたびにあかぬ色なり足曳きのかたや山椿 今ぞ咲く花に心を越の雪その初嵐あかしれん」と詠まれた椿です。ところが実在の木が見当たらず、愛好家の間で「幻の椿」とされてきました。その銘椿が小松の仏心寺ですくすくと育っていたのです。ほかの椿に先駆けて、10月ごろから紅のかれんな花を咲かせます。



明石蓮

もう1本の古木「大城冠」は、徳川御三家の筆頭である尾張徳川家の居城・名古屋城の御殿椿で、門外不出とされていました。

その椿がなぜ小松藩に伝えられたのか。「おそらく名古屋城から一枝もらって挿し木されたのではないか。それは小松藩主一柳直卿が尾張大納言の書の師範だったからではないか」という考察があります。尾張からいただいた大切な大城冠（だいじょうかん）を、同じ名前と呼ぶのはおそれ多いと、小松では「だじょうかん」と呼び名を変えて大切に受け継いでいます。花は、白色の八重、蓮華咲きの大輪です。

※仏心寺の庭内は、非公開となっています。

※「小松史談135号（小松史談会／編）ロマンの花・小松の椿（黒川雅子）」より一部引用



大城冠